

# モラウとイタダクのヲ格名詞・動名詞の違いについて

岩井 智哉 (大阪大学文学研究科)

## On the Difference of *wo* Noun Phrases When They are Followed by *morau* and *itadaku*

Tomoya Iwai(Osaka University)

### 1. はじめに

本発表では、～ヲモラウと～ヲイタダクという形について、ヲ格の名詞・動名詞<sup>1</sup>を比較することで、モラウとイタダクの本動詞的に見える用法に敬意だけではない違いがあることを示す。調査方法としては、昨年の秋に『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下、BCCWJとする)の検索アプリケーション「中納言」が公開されたことを受けて、BCCWJを利用する。～ヲモラウと～ヲイタダクの直前に来る語・形態素を比較することで、～ヲイタダクは～ヲモラウに比べてスルを下接してサ変動詞として使える動名詞をヲ格に取っていることが多いことを示す。

### 2. モラウとイタダク

モラウとイタダクには本動詞の用法と補助動詞の用法がある。

- (1) 花子が先生に数学の教科書をもらういただく。
- (2) 花子が先生に数学を教えてもらういただく。
- (3) 花子が先生に数学をご教授いただく。

例文(1)は本動詞、(2)と(3)は補助動詞の用法である。この補助動詞としての意味・用法については由井(1993)、菊地(1997)、高見・加藤(2003)、山田(2004)などかなり充実した考察がある。オ・ゴ～イタダクの形については菊地(1997)が「お書きになっていただく」「ご指導なさって(になって)いただく」の「になって」「なさって」の部分を端折ったものだと見ると分かりやすいとしている。

しかし、例えば「ご教授をいただく」など、形の上ではヲ格をとって本動詞のように見えても、意味は例文(3)とほとんど変わらない用法も見聞きする。このようなものについての研究は管見の限り見当たらない。これについてBCCWJを用いて調べてみたい。

### 3. モラウとイタダクのヲ格

#### 3.1 調査方法

「中納言」でBCCWJのすべてから短単位検索の語彙素読みでそれぞれ「モラウ」「イタダク」と指定し、モラウとイタダクの全用例を検索した。さらにその中からモラウ・イタダクの直前に助詞のヲが来ているものを抜き出し、ヲの直前に来ている名詞・動名詞を集計した。

モラウの全用例は41954例、そのうち～ヲモラウは4597例あった。

イタダクの全用例は35438例あった。そのうち～ヲイタダクは5063例であった。

#### 3.2 モラウのヲ格

まず、～ヲモラウについてヲ格の名詞を見る。上位20語を挙げる。スルを後接してサ変動詞として使えるもの(動名詞の用法があるもの)に下線を引く。

<sup>1</sup> 影山(1993)にならい、名詞のようだがスルと複合して動詞になるものを動名詞と呼ぶ。

～ヲモラウのヲ格名詞・動名詞

金 265 薬 124 給料 117 年金 104 許可 77 賞 69 手紙 64 電話 60 もの 58 元気 57  
返事 56 回答 52 プレゼント 45 サイン 39 アドバイス 35 連絡 35 券 35 保険 32 メ  
ール 31

～ヲモラウ上位 4 つまでは動作性のない具体的な名詞である。また、ここに見られるサ  
変動詞の前項になれるものでも、「許可」「賞」「回答」「プレゼント」など動作や行為でなく、  
その結果できたものを表す「結果名詞」(影山 1993)と解釈できるものが多い。

### 3.3 イタダクのヲ格

～ヲモラウと同じく、上位 20 語を挙げ、動名詞の用法があるものに下線を引く。

～ヲイタダクのヲ格名詞・動名詞

答え 198 理解 169 答弁 144 回答 129 協力 109 意見 102 説明 80 アドバイス 75 審  
議 73 言葉 71 指摘 66 連絡 64 メール 58 コメント 52 評価 51 答申 50 時間 50 返  
事 47 電話 46 手紙 44

動作性のない具体的な名詞の順位は下がる。「理解」「協力」「審議」といった「結果名詞」と  
しての解釈がしにくい語が～ヲモラウに比べて多くなっている。

名詞や動名詞に接頭辞のオやゴが付くものを抽出すると、その傾向がより強くなるよう  
に思われる。次に示すのは～ヲイタダクのうち、「を」の二つ前に「お」「ご」「御」が来て  
いるもの、つまり下に示した形態素の直前に「お」「ご」「御」のいずれかがあるものであ  
る。

オ・ゴ～ヲイタダクのヲ格名詞・動名詞

答え 186 理解 160 答弁 103 協力 79 意見 77 審議 68 指摘 64 説明 61 話 41 許し  
41 議論 35 連絡 31 返事 30 示し 28 言葉 27 祝い 26 茶 26 手紙 26 検討 24 努  
力 23

オ・ゴ～ヲイタダクでは「理解」「協力」「審議」は以下のように用いられている。下線は引  
用者。

- (4) 先生のおっしゃいましたように、再建監理委員会は当時としての御推計はされまし  
たけれども、最終的には政府においてきちんとした数を定めるということと御理解を  
いただいて結構だと思います。(参議院 国会会議録 第 104 回国会 1986)
- (5) 調査にご協力をいただいた聖徳大学の■■■■さんの見解をもとに、ご紹介します。(広  
報つちうら 2008 年 02 号 茨城県土浦市)
- (6) ただ、民営・分割までの間まだ時間がございますし、法案もまだ御審議をいただか  
なければなりません。(参議院 国会会議録 第 104 回国会 1986)

これらの例はイタダクをモラウと置き換えると容認しにくくなるように感じられる。

- (7) ?最終的には政府においてきちんとした数を定めるということと御理解をもらって結  
構だと思います。
- (8) ?調査にご協力をもらった聖徳大学の■■■■さんの見解をもとに、ご紹介します。
- (9) ?法案もまだ御審議をもらわなければなりません。

このような例は本動詞よりも補助動詞用法とされるオ・ゴ～イタダクに近いものと考え  
 方が適切だろう。

### 3.4 フ格名詞の修飾

～ヲイタダクが補助動詞的な用法を持つことは、名詞・動名詞の修飾にも表れている。

ここでは動名詞として解釈しうる語の中で、～ヲイタダクで最も多かった「理解」と、  
 ～ヲモラウで最も多かった「許可」を例とする。フ格名詞が連体形や連体助詞ノで修飾さ  
 れているときは名詞的に、連用形や副詞、助詞のトや連用形+テで修飾されていたり格を  
 とっているときは動名詞的に扱われていると仮定して、どちらであるか実際の用例を見て  
 みる。連用形や副詞などで修飾されていても修飾語句が「十分に」や「ぜひ」などイタダクや  
 それに続く助動詞などまで含めて修飾すると考えられる場合は、それを根拠に動名詞的に  
 扱われているとは判定しない。

「理解」は～ヲイタダクでは多いが、～ヲモラウでは 2 例しかない。明確に判定できる  
 ものうち、～ヲイタダクにおいて「理解」が名詞的に修飾されているものが 26 例。

- (10) 山崎さんや石井君の協力に加え、会長の福川忠昭先生や副会長の伊集院謙信先生に  
 も深いご理解をいただき、OB・OG会では勇貴のことを話す時間をとってくださっ  
 た。(有村 英明『届かなかった贈り物』講談社 2005)
- (11) まあ地方公共団体というのはなかなか調整が困難な問題、あるいは環境問題で周辺  
 地域の住民の方々の御理解をいただけなかったというような問題も間々あるわけ  
 ありまして、(国会会議録 第 094 回国会 1981)

動名詞的に修飾されているものが 40 例あった。

- (12) 私たちの財産である大芝高原を守り育てるこの取り組みにつきましてご理解をい  
 ただき、ご参加いただきますようよろしくお願ひします。(広報みなみみのわ  
 2008 年 10 号長野県上伊那郡南箕輪村 2008)
- (13) そして最後に、じゃ、社会保険庁を抜本的に見直す、組織を見直すという答えを出  
 そうというこのことで作業を進めてきたと、こういうふうに御理解をいただきたい  
 と思います。(国会会議録 第 162 回国会 2005)

～ヲモラウでは 1 例が動名詞的に扱われていた。

- (14) 姑に意見するのは、多少勇気がいると思いますが・・・旦那様にもよくご理解を貰  
 って、頑張って下さい。(Yahoo!知恵袋 Yahoo! 2005)

理解

|      | ～ヲモラウ | ～ヲイタダク |
|------|-------|--------|
| 名詞的  | 0     | 26     |
| 動名詞的 | 1     | 40     |
| その他  | 1     | 103    |
| 総計   | 2     | 169    |

「許可」は～ヲモラウでも～ヲイタダクでも名詞的な扱いが多かった。1

- (15) だけど、ボートを使う許可をもらったほうがいいだろう。(C.アドラー/久米穰『ぼ

- くたちの宝島』金の星社 1991)
- (16) 「でも、よくわからないな。そんなの黙って勝手に想像していればいいじゃない。いちいち私の許可をもらわなくたって、君がなにを想像しているかなんて、私にはどうせわかりっこないんだから」(村上春樹『海辺のカフカ』新潮社 2005)
- (17) 山村先生はバーネットがあまりお好きでなく、「そんなにうまくいくか」という反応でしたが、なんとかねばって、とうとう「勝手にやれ」という許可をいただきました。(林 昭/バレンチナ・オスタペンコ/宮澤 正顯『からだをなおす』昭和堂 2003)
- (18) Kさんの許可をいただきましたので、今日、明日、ブログ上写真展を開催します。(Yahoo!ブログ Yahoo! 2008)

動名詞的な扱いは少なく、～ヲモラウで2例だけだった。

- (19) その協会の講師免状をもらっている人(つまり協会から教室を開いてもよいと許可をもらっている人)のうち、実際に教室を開いている方は、なんと全体の三十%しかいないのです。(犬塚義人『はじめよう!カルチャー教室』同文館出版 2004)
- (20) で、自分で修理して良いよと許可を貰えたら、修理に移ります。(Yahoo!知恵袋 Yahoo! 2005)

～ヲイタダクでは「許可」が動名詞的な扱いを受けているものは見られなかった。「許可」は、～ヲモラウ・～ヲイタダクに接続するときは名詞としての解釈が多いと言える。

許可

|      | ～ヲモラウ | ～ヲイタダク |
|------|-------|--------|
| 名詞的  | 27    | 10     |
| 動名詞的 | 2     | 0      |
| その他  | 48    | 10     |
| 総計   | 77    | 20     |

「理解」は動名詞的な扱いで～ヲイタダクに前接することが多く、「許可」は名詞的な扱いで～ヲモラウに前接することが多かった。

#### 4. まとめ

本発表では、BCCWJを用いた調査から、～ヲモラウに比べて～ヲイタダクのヲ格には動名詞になるものが現れやすいこと、それらには連用形や副詞で修飾されるものが少ないことを示した。

ここから、～ヲモラウと～ヲイタダクに単なる敬意の差があるだけでなく、形の上では本動詞の用法に見える～ヲイタダクに、補助動詞用法に近い抽象的な用法があると考えられる。

#### 文 献

- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房  
 菊池康人(1997)『敬語』講談社  
 由井紀久子(1993)「モラウの意味的抽象化・希薄化の過程」『阪大日本語研究』5 pp.83-93  
 山田敏弘(2004)『日本語のベネファクティブ―「てやる」「てくれる」「てもらう」の文法―』明治書院  
 高見健一・加藤鉦三(2003)「受益表現の新展開」『言語』32-1～32-6